

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和2年第4回沖縄県議会(定例会)

07月14日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	比嘉 京子(沖縄・平和)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 新型コロナ禍における課題について</p> <p>(1) 医療</p> <p>ア 感染拡大防止策の第一は、検査体制にあると言われている。本県の体制はどうか、1日の検査件数は最大幾らか。</p> <p>イ 第2波に向け県内の病院の受入れ体制はどうなっているか、入院病床は最大何床あるか。</p> <p>(2) 教育</p> <p>ア 休校が長期にわたることに対する授業の在り方について、また今後の授業に必要な課題は何か。</p> <p>イ 小学生の不登校率が高くなっていると言われているが実態はどうか、特に1年生に多いと言われているがどうか。</p> <p>ウ 養護教諭の職務内容が増加しているとの訴えがあるが実態を把握しているか、加配を検討すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 福祉</p> <p>ア 介護や保育現場は3密を避けることは不可能である。現行の職員配置では対応できない状況である、対策を伺う。</p> <p>イ 聴覚障害者は医療機関での手話が通じないことへの不安を持っている。手話遠隔サービスの拡充が必要と考えるがどうか。</p> <p>(4) 文化、芸能・芸術</p> <p>ア 芸能・芸術イベント等の中止件数、損失額は把握されているか。</p> <p>イ 文化、芸能・芸術の存続へ向け今後の対応策について</p> <p>2 北部地域の医療体制について</p> <p>私は、基本的に北部の2病院の「統合」は検討すべきと考えている。病院の統合には①機能分担による統合、②経営統合、③全面的な統合が考えられるが、今提案されている統合は「全面的な統合」である。しかも民間と県立という経営の根本から異なる2病院の統合は、運営や経営に徹底した議論が必要であると考え。</p> <p>(1) 北部12市町村及び12市町村議会等から北部基幹病院の早期実現を求めるため基本的枠組みに関する合意書(案)に合意するよう要請がある。</p> <p>ア 県と12市町村との合意の主な内容、根拠について伺う。また12市町村が懸念していた点は何か。</p> <p>イ 12市町村のうち宜野座村、金武町、恩納村は中部医療圏を利用していると言われるがどうか。</p> <p>(2) 設置主体、運営、収支について</p> <p>ア 設置主体、運営主体について伺う。</p> <p>イ 県立北部病院、医師会病院の負債の取扱いについて伺う。</p> <p>ウ 公的資金を投入するからには指定管理者制度上一般公募となると考えるがどうか。</p>			

エ 収支について現時点ではどのように見込んでいるか、赤字が出た場合の対応はどのように考えているか。

オ 市町村の負担は設置主体としての負担か、任意的・協力的な負担か負担の性質について問う。

(3) 知事公約、沖縄県地域医療構想(保健医療部平成29年3月)との整合性について

ア 知事公約は、主要政策に「北部基幹病院を早期に実現します」とし、一方、実施政策は「県立病院の経営形態を維持し機能強化を図るため……」としている。両者を実現するには、県立病院の経営形態を維持し、基幹病院をつくることになるが、どうか。

イ 地域医療構想では県立北部病院と北部医師会病院の統合は「地方公営企業という病院事業の現行経営形態を維持することを前提として……」と明記している。整合性を図る必要はないか。

(4) 人員確保について

ア 医師確保において県立病院の経営形態と北部基幹病院の経営形態による優位性はどちらにあるか。

イ 病院事業局は北部基幹病院への医師及び看護師を開院時から3年間派遣するとしている、計画を伺う。

ウ 保健医療部は北部基幹病院の医師、看護師の確保をどのように計画しているか。

3 我が会派の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和2年第4回沖縄県議会(定例会)

07月14日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	当山 勝利(沖縄・平和)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 県は警戒レベルの判断基準を示した。基準の根拠等について伺う。</p> <p>(2) 第2段階以上で、事業者に対し休業要請が行われることが予想されるが、休業に対する補償について伺う。</p> <p>(3) 医療体制や医療用資器材の備蓄等について伺う。</p> <p>(4) 県民がPCR検査を受けたくても受けにくい状況があった。今後どのように対応するのか伺う。また、抗原検査も判断に用いられるか伺う。</p> <p>(5) 新型コロナウイルスの特徴として、感染しているが無症状者が多く存在することが分かった。無症状感染者の対応について伺う。</p> <p>(6) 学校の臨時休校の期間について伺う。また、臨時休校中に遠隔授業が行われると思うが、支援体制について伺う。</p> <p>2 浦添西海岸及び那覇軍港の浦添移設について</p> <p>(1) 浦添西海岸を広大に埋立て、かつ軍港が移設されることにより、隣接地である牧港補給基地跡地の価値を損なうが、所見を伺う。</p> <p>(2) 浦添西海岸にロングビーチを造成することでブランド価値を生む空間形成が実現できるが、所見を伺う。</p> <p>3 平和祈念資料館について</p> <p>(1) 施設の老朽化に伴う改修工事について伺う。</p> <p>(2) 開館して20年の間、一度も常設展示の見直しがないが、その必要性について伺う。</p> <p>(3) 平和の礎と資料館の間にトイレと休憩所があるが、設置された経緯について伺う。</p> <p>4 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和2年第4回沖縄県議会(定例会)

07月14日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	喜友名 智子(ていーだネット)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 保育園行政について</p> <p>(1) 県内待機児童問題について</p> <p>ア 県内の待機児童数の推移はどうなっているか。</p> <p>イ 待機児童問題が解消されない理由は何か。</p> <p>ウ 保育士の待遇改善について、県の取組について伺う。</p> <p>(2) 保育園で感染拡大防止のために休業させた職員への休業手当の支払いについて</p> <p>ア 休業手当が適切に支払われていない事例について沖縄県内での現状を伺う。</p> <p>イ 感染拡大防止のため休業した保育園職員への適切な休業手当の支払いについて、県の見解と対応を伺う。</p> <p>2 新型コロナウイルス対策について</p> <p>(1) 令和2年6月24日に沖縄県医師会から県知事宛てに「新型コロナウイルス感染症対策にかかる定期予防接種並びにインフルエンザ予防接種についての要望について(お願い)」があったことについて、県の対応を伺う。</p> <p>3 主要農作物種子法(種子法)と種苗法改正について</p> <p>(1) 2018年4月に廃止された主要農作物種子法(種子法)について</p> <p>ア 沖縄県内の農業への影響について伺う。</p> <p>イ 沖縄県の対応について伺う。</p> <p>(2) 国会で議論されている種苗法改正について</p> <p>ア 沖縄県内の農業への影響について見解を伺う。</p> <p>イ 沖縄県の対応について伺う。</p> <p>(3) 沖縄県の種苗事業関連予算の推移について</p> <p>(4) 遺伝子組換え作物栽培のガイドライン策定検討について伺う。</p> <p>4 離島の航空路線について</p> <p>(1) 「沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業」について、利用状況はどうなっているか。</p> <p>(2) (1)の事業について、利用対象者を離島出身者まで拡充することへの見解について伺う。</p> <p>5 SDGs(持続可能な開発目標)の沖縄県の取組について</p> <p>(1) SDGsの推進体制及び取組の現状と今後の展望について</p> <p>(2) おきなわSDGsパートナー認定の状況はどうなっているか。</p> <p>6 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和2年第4回沖縄県議会(定例会)

07月14日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	西銘 純恵(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 新型コロナから県民の命を守り、暮らしと人権を守ることについて</p> <p>(1) コロナ感染防止のための自粛によって、DVや児童虐待が増加したと言われているが、その実態と県の対策を伺う。</p> <p>(2) 自粛によって事業閉鎖や倒産した件数、雇い止めや解雇などによる失業者の実態と支援策を伺う。</p> <p>(3) 自粛による収入減、解雇や雇い止めによって、生活が逼迫する人が急増している。生活保護は憲法25条に基づく権利であると考えますが、知事の認識を伺う。申請をためらって命が脅かされることがあってはならない。生活保護は権利という広報を行うことについて。厚労省の4月7日付通知による保護の対応と実施状況、保護決定の短縮化について</p> <p>(4) 県が積極的に補正予算を積み増した緊急小口資金や総合支援資金が窮乏した県民の暮らしを支えている。コロナ対策での特例貸付けによる貸付要件、予算額と貸付け状況、広報について</p> <p>(5) 国保税の減額免除と傷病手当金についてテレビ広報がなされているが、市町村の取組状況について</p> <p>(6) 介護保険料の減額免除の実施状況について</p> <p>(7) コロナ禍によって、独り親世帯の生活困窮の声が寄せられているが、実態はどうなっているか。独り親に対する支援策と拡充することについて</p> <p>(8) 感染拡大を防止するための条件整備として、国の40人学級を少人数学級に改善することが緊急だと考えるが、見解と対応を伺う。</p> <p>(9) 休校による学習時間の大幅削減は、家庭の所得差による学習格差も指摘されている。学校現場では、子供たちはストレスを抱え、教職員はコロナ対策のための新たな負担を強いられながら、学習の遅れを取り戻すために授業時数確保に苦慮している。全国学力テストが中止されたが、県も中止すべき。</p> <p>(10) 高校生への奨学給付金事業など、コロナ対策としての拡充が求められているが、対応を伺う。</p> <p>2 辺野古新基地ストップ、普天間基地を即時運用停止、閉鎖・撤去することについて</p> <p>(1) 辺野古新基地建設は12年かかると政府は見直したが、米下院軍事委員会も懸念している活断層や軟弱地盤によって、費用においても技術的にも工事は不可能である。危険な普天間基地は政府が約束した2019年の運用停止期間を既に徒過した。普天間基地被害はひどくなっているが、爆音などの被害状況を伺う。一刻も早く運用停止させることについて</p> <p>(2) 絶滅危惧種のジュゴン保護は世界的な課題である。国連は、今後数十年間で100万種の生物が絶滅するおそれがあり、抜本的な対策を取ることは未来のための責任で、気候変動対策と生物多様性の維持は一体のものと警告をしている。ジュゴンの鳴音が辺野古海域で確認されているが、実態を伺う。また、工事を停止してジュゴンの保護策を取ることは世界に対する日本政府の責任ではないか。見解を伺う。</p> <p>3 発がん性のある有害物資PFASに汚染されない、安全な飲料水を確保するために</p> <p>(1) 嘉手納米軍基地や普天間基地への立入調査はどうなっているか。PFOSやPFOAの使</p>			

用履歴及び貯蔵を公表させることについて

- (2) 汚染源からの取水停止などの取組状況、またダムからの取水量を増やす取組について
 - (3) 米下院軍事委員会の可決した国防権限法は、有機フッ素化合物に関する条項が盛り込まれたという報道があるが、内容を問う。沖縄県では嘉手納基地から流出したPFOSやPFOAが水道水に含まれて飲用されている。命と人権が侵害されていることを米国政府や議会に情報発信して、米軍基地内での使用禁止を急がせるべきではないか。
- 4 子供の貧困対策について
- (1) 新型コロナ禍における課題と取組を問う。
 - (2) 2回目の高校生調査結果を受けて、1回目と比較しての見解を問う。また、県の取組の成果と今後の課題と施策を問う。
- 5 認可保育園から、中途退園児が出たときの収入減の補填を求める要望があるが、対応策を問う。小規模保育所から要望のある年度当初における定員に満たないときの減収分の支援策を問う。
- 6 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

令和2年第4回沖縄県議会(定例会)

07月14日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	瀬長美佐雄(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 戦後75年目、恒久平和を築く取組について</p> <p>(1) 6月23日「慰霊の日」平和宣言に込めた知事の思いについて</p> <p>(2) 日本に次ぎ平和憲法を制定した軍隊を持たない国コスタリカは、平和構築分野のみならず、SDGsを進める上で、参考になると思うがどうか。見解を伺う。</p> <p>2 コロナ禍における県民の命と暮らし支援を求めて、日本共産党は4度にわたり要請してきた。</p> <p>(1) コロナ感染の第1波への対応状況とその検証の取組、第2波への備えについて。</p> <p>(2) 文化芸能関係者のイベント自粛・中止などに伴う影響についての実態。文化は生活に不可欠な要素として支援する必要がある。その認識と支援策を伺う。</p> <p>(3) 一般会計補正予算(第1号から第4号まで)約1000億円での支援対象の業種及び件数、人数の見込みを伺う。</p> <p>(4) 給付金「うちなーんちゅ応援プロジェクト」事業の進捗状況を伺う。</p> <p>(5) コロナの影響を受け経営が厳しい医療機関の支援の拡充について</p> <p>ア コロナ感染者の治療に果たした県立病院の役割について</p> <p>イ コロナの影響により減収した指定・協力病院等への補填の対応策。国への支援要請。</p> <p>ウ 医療機関を守り、第2波に備える予算執行が求められる。経営実態と対策。</p> <p>3 観光業の現状と支援策について</p> <p>(1) 入域観光客の推移と現状、今後の見込みと対策を伺う。</p> <p>(2) 観光バスやレンタカー会社における解雇や倒産件数、支援の状況を伺う。</p> <p>(3) おきなわ彩発見キャンペーンの成果について(第1弾)</p> <p>(4) 民泊や民宿関係者の意見・改善点。期待される効果について(第2弾)</p> <p>4 再生医療産業拠点構想に基づく豊見城市に計画する「細胞培養加工施設」整備について、計画の位置づけや事業内容、将来、期待される効果。取組の現状について。</p> <p>5 特定の人種や民族に対する攻撃である「ヘイトスピーチ」は、人権を著しく侵害し、憲法の理念にも反するものです。ヘイトスピーチの根絶に向け、国連としての「戦略と行動計画」を発表しています。ヘイトスピーチ根絶に向けた県の見解及びその計画を伺う。</p> <p>6 「世界のウチナーンチュ大会」開催準備状況と世界のウチナーネットワーク構築の現状。</p> <p>7 先島への自衛隊配備計画は、地元住民の同意もなく強行することは許せない。住民の生活を守る立場で国に要請することを求める。</p> <p>(1) 住民合意を踏まえない工事の強行を止めるべきでないか。</p> <p>(2) ミサイル発射後のブースターの落下問題で政府は「イージス・アショア」配備計画を断念した。先島配備の地对艦ミサイルのブースター落下の危険性に住民から不安と怒りの声がある。「イージス・アショア」配備を断念したことと同様に、県も国に対し、先島へのミサイル基地配備計画の配備中止を求めるべきでないか。</p> <p>(3) 石垣市における赤土流出の事実確認と防止策の徹底及び、日曜日にも工事の騒音に悩まされ、農家の休息が連日侵害されている状況。</p>			

(4) 宮古島市への自衛隊配備問題

宮古島駐屯地における弾薬庫と民家の距離、自衛隊が定める火災基準に違反していないか。

千代田弾薬庫の撤去、保良弾薬庫の建設中止を国に求めるべきである。県の見解を求める。

8 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

令和2年第4回沖縄県議会(定例会)

07月14日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	山里 将雄(ていーだネット)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 県立高等学校の再編について

(1) 県立高校再編整備計画について

- ア 高校再編計画の骨子を伺う。
- イ 現在の進捗状況を伺う。
- ウ 現計画期間はまもなく終了するが、新たな計画策定の予定はあるか伺う。
- エ 北部地域に関する計画の進捗状況について伺う。

(2) 中高一貫校の設置状況について

- ア 県内の中高一貫校の現状を伺う。
- イ 中高一貫校の必要性について伺う。
- ウ 設置形態はどのようなものがあるか。
- エ 併設型と連携型の違いは(それぞれの利点、欠点は)。

(3) 北部地域における中高一貫校設置の取組状況について伺う。

2 北部基幹病院について

- (1) 今年2月「北部基幹病院の基本的枠組みに関する合意書(案)」が合意されて以後の経緯を伺う。
- (2) 北部地域病院整備推進会議からの要請、名護市はじめ北部市町村議会の決議などが次々行われており、北部住民の基幹病院早期開院の願いは切実である。そのような状況に対する知事の見解を伺う。
- (3) 「北部基幹病院の基本的枠組みに関する合意書(案)」について伺う。

3 基地問題について

- (1) 県議会議員選挙直後の辺野古新基地建設工事再開について見解を伺う。
- (2) 沖縄防衛局の軟弱地盤改良工事に伴う設計変更申請書提出について見解を伺う。
- (3) 米連邦議会下院軍事委員会で辺野古基地建設に懸念が示されたことについて
 - ア 県の見解を伺う。
 - イ これまで翁長知事や玉城知事の訪米活動が影響したと思うか伺う。
 - ウ 知事の訪米予定について伺う。
- (4) 地上配備型迎撃システム「イージス・アショア」配備撤回に係る国の対応について見解を伺う。

4 新型コロナウイルス対策について

- (1) 終息にはまだ時間を要し感染拡大防止対策も長期的視点が必要と思うがいかがか。
- (2) 県内で2か月以上感染者が出ていないことで県民の生活の中に、いわゆる「気の緩み」が生じないか懸念されるがその対策について伺う。
- (3) 新型コロナ感染拡大の長期化により県財政への影響が懸念されるが見解を伺う。
- (4) 県内在住外国人への支援策について伺う。

5 我が会派の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和2年第4回沖縄県議会(定例会)

07月14日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	玉城 武光(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 辺野古新基地問題について</p> <p>(1) 新基地建設に伴う名護市辺野古沖のサンゴ移植をめぐる総務省の第三者機関「国地方係争処理委員会」は、江藤拓農林水産相が行った是正指示について「違法ではない」との判断を示した。同委員会の判断は地方自治の精神をないがしろにするだけでなく、軟弱地盤の地盤改良工事やサンゴ移植の生存率を無視した不当極まりない決定である。知事の見解を伺う。</p> <p>(2) 県は6月25日、辺野古新基地建設海域付近で絶滅危惧種のジュゴンの鳴音が繰り返し確認されていることから、工事を停止するよう求める3度目の行政指導文書を沖縄防衛局に出した。沖縄防衛局の対応はどうなっているのか伺う。</p> <p>2 農林水産業の振興について</p> <p>(1) 新型コロナウイルスの農漁業への影響について伺う。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染は食料自給の重要性を再認識させた。食料自給率向上の取組を伺う。</p> <p>(3) 新型コロナウイルスの感染拡大で魚介類の出荷も魚価も激減するなどの影響が家族漁業者を直撃している。漁村の地域経済を守るためには、減収に苦しむ沿岸漁業者を対象にした所得補償対策が急務ですが県の対応を伺う。</p> <p>(4) 農家の自家増殖を原則禁止する「種苗法」改定法案に反対すべき。また、ゴーヤーなど沖縄特産の「種」を守る県条例を制定すべきではないか。</p> <p>(5) ちばりよ～！わった～農林水産業応援プロジェクト事業の概要を伺う。</p> <p>(6) 農漁業の後継者支援、人材育成等の現状と課題について伺う。</p> <p>(7) 水産業の競争力強化を図る「浜の活力再生広域プラン」策定の現状と課題について伺う。</p> <p>3 新型コロナ禍の経済と雇用などへの影響と課題について</p> <p>(1) 県民の事業と生活を維持し、将来を先取りした経済の礎を築く取組について伺う。</p> <p>(2) 沖縄県雇用継続助成金事業について伺う。</p> <p>4 我が党の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和2年第4回沖縄県議会(定例会)

07月14日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	仲宗根 悟(沖縄・平和)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 戦後75年の節目を迎えた今年の沖縄全戦没者追悼式での平和宣言に寄せた知事の思いを伺う。</p> <p>(2) 松井(まつい)一實(かずみ)広島市長、田上(たうえ)富久(とみひさ)長崎市長、中満(なかみつ)泉(いずみ)国連事務次長・軍縮担当上級代表が寄せられたメッセージには、戦争の惨禍を経験し、二度と繰り返してはならない不戦の誓い、今後取るべき道標を示した内容であったと思うが、県の見解を伺う。</p> <p>(3) アメリカ下院軍事委員会の即応力小委員会が辺野古新基地建設の軟弱地盤、活断層などを指摘し報告の提出を義務付けた国防権限法案を可決した。米議会が辺野古新基地建設工事計画に明確に懸念を認めたことは大きい。知事はどのように受け止めているか伺う。</p> <p>2 基地問題について</p> <p>(1) 嘉手納飛行場及び普天間飛行場の爆音被害、夜間、深夜、早朝を問わず周辺住民の生活を無視した飛行訓練が繰り返されている。県は被害実態を把握しているのか、平穏で静かな生活環境を取り戻す取組について伺う。</p> <p>(2) 日米合同委員会で合意された在日米軍の航空機騒音規制措置は実効性が伴うものではない、見直しを求めるべきである。県の見解を伺う。</p> <p>3 新型コロナ感染症対策について</p> <p>(1) これまでの取組と今後予想される第2波、第3波に対する考え方及び備えについて伺う。</p> <p>(2) 経済対策について基本的な考え方、取組について伺う。</p> <p>(3) 感染拡大防止策を取りながら冷え込んだ経済を立て直していかなければならない。その取組について伺う。</p> <p>4 我が会派の代表質問との関連について</p>			